

令和7年度 自己評価および学校関係者評価書

令和8年3月2日
函館市立桔梗中学校

1 本年度の重点教育目標

「認め合い 伝え合い 共に歩む」生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- しかける・かえる ～「生徒第一主義」
すべての生徒たちの可能性を引き出す桔梗中
- ひらく・つながる ～「社会に開かれた教育課程」
すべては解決する桔梗中～

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
1. 教育目標・教育課程・研修	教育目標達成のために、具現化を図る手立てを考え教育活動をすすめている。	a		A		「グランドデザイン」は、より積極的に生徒と共有いただきたい。
2. 学習指導	基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着を目指し、学習意欲が向上する授業の構築と実践をすすめている。	b	教職員がお互いの授業を見合う雰囲気大切に。主体的・対話的で深い学びの視点で、授業改善につなげる時間を設ける。	A	A	お互いの授業を見合うことはとても大事です。生徒が主語になる語り合いが重要だと思います。
	家庭学習の習慣化を図る指導がなされている。	c	授業を通して、生徒が家庭学習でもっと深く学びたいと思えるよう、授業改善を一層進める。	A	A	授業の中で、生徒が自らの問いを見出す場になることが望ましい。
3. 道徳指導	全教育活動を通して、いじめ撲滅や思いやりの心を育てる指導に努めている。	b	集会や道徳の授業等、生徒がいじめについて考える時間を充実させる。	A	A	お互いの正直な気持ちを分かち合う場があるとよい。
4. 特別活動	学級活動、生徒会活動、学校行事に対して内容の充実を図るための工夫がなされている。	b	生徒が主体となった活動となるよう、目標の設定や計画の作成を行う。	A	A	次年度への展望をその都度意識するのは大事だと思う。
	自己の将来を見通した生き方を考えさせる意図的、計画的な進路指導の工夫がなされている。	b	3年間の学びがつながっていくイメージを生徒がもてるように課題を設定し、関心・意欲が持続できる活動の充実を図る。	A	A	高校のその先の進路が見えることで、子どもたちのやる気が増すのでとてもよい取組でした。
5. 生徒指導	望ましい集団生活を目指し、基本的な生活習慣の確立と定着に努めている。	c	正しい行動を評価し、適時適切な指導を実践する。	A	A	家庭との綿密な共通理解も必要になるかと思う。
	問題行動の早期発見や予防など、全校体制のもとで連携をとりながら適切な指導に努めている。	a		A		
6. 健康安全指導	生徒の実態に即した健康安全（感染症予防対策）に関する意図的、計画的な指導を推進している。	b	手洗い・うがい等の基本的な感染症予防を流行期に徹底するよう、委員会活動と連携する。	A	A	5と同様、家庭との綿密な共通理解も必要になると思う。
7. 家庭・地域との連携	学習状況や生活の様子を学校だよりや学級通信、懇談会などで家庭や地域に情報発信している。	a		A		
	「地域とともにある学校」であるために参観日や地域公開授業、各種行事などで保護者や地域に対し、学校訪問の機会を十分に設けている。	b	学校行事の案内文を学校運営協議委員へ配付する機会を増やすなど、地域の方々に来校いただく機会を増やす。	A	A	メールやSNS、ウェブを活用していきたい。郵便だけでは限界もあると思う。
10. 豊かな心をはぐくむ活動の充実	授業や学校行事において、生徒が互いに認め合う場の設定を工夫している。	a		A		

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。